

「澤さん、来年度の時給上がりましたか？私は一円も上がってないんだけど」と保育園の休憩時間に聞かれた。聞いてきた彼女は私と同じパートの保育士で、とても気の付く穏やかな方だ。今まで時給の事など話題にしたことがない裕福なご家庭の主婦でもある。その彼女が「今年は時給上がるよねって、みんなで期待してたのに一円も上がらないってモチベーションさがりますよね」と話題にするくらい、今年度の時給アップなしは意外な出来事だった。

賃上げとか、最低賃金の値上げとかあちこちで言われているが、相変わらず「雇用の調整弁」として利用されているパートの時給はびた一文も上がらなかった。東京都の最低賃金に到達するように無資格のパートさんの時給を上げた分、有資格のパートさんの時給があげられなかったと、それもただの噂だけれど。

「保育園のパートなんて家庭の主婦の小遣い稼ぎなんだから文句はあまりでないはず」なんていう経営者の思惑が透けて見えて、ちょっとあきれてしまう出来事だった。

そして、こんなことを書い

ているさなか、どこぞの知事さんが「野菜を売るとか牛を飼うとかと違って、あなた方は知性があり頭脳を使って仕事をしなければならない」と新入職員に訓示されたというニュースが入った。さしずめ保育園の仕事なら「子守をす

## 時給が上がらない

澤 順子

(さわ じゅんこ)  
東京都在住)

る仕事は知性や頭脳なしでできる」と思っているんだなあなんて、これは勝手な推測だけれど。

時給の話に戻す。コロナ禍のさなか郵便局の非正規で働いていた次男の時給も最低賃金ギリギリだったので、とても一人で生活したり所帯を持つことは難しい月収だった。世間の人々が巣ごもり生活ができたのは、インフラを守る人

たちがその期間も働き続けてくれたからだけど、そのことと報酬とは本当にリンクしていないなと感じるコロナ禍だった。「誰でもできる仕事」とか言うこと自体が働く人のモチベーションを完全にさげろし、そんなわりに合わない仕事に人が定着しないのも当たり前のことだろう。

今の会社はパート保育士の時給を年に5円単位で上げているが、(今年は全く上げなかったが)これは月80時間働いた場合でも400円のアップになる。春闘でベースアップ30,000円の企業が続出などがあるが、単純に時給計算すると一時間180円アップになる。180円対5円!違う会社の違う職種の比較なのだから比べようはもちろんないが、そんなに差のつけられる仕事内容なのだろうか。なんだか本当にわからなくなる。

保育園もご多聞にもれず人出不足だが、もしそれをパートで補いながら運営するのなら、もう少し労働の対価があってもいいのでは、と思うのは単なる愚痴かしら?近所のスーパーの募集張り紙をみたら、うちの保育園より時給はずっと高かった。みんな転職しちゃいますよ。